

HoRC-MSA ニュースレター

2023年もよろしくお願いいたします。

HoRC-MSAは9年目の活動に入ります

2014年11月に始まった「北海道における多系統萎縮症の自然史・疫学・レジストリ構築に関する研究」(Hokkaido Rare disease Consortium for MSA: HoRC-MSA)の登録は9年目に入りました。

この間、北海道内の各医療施設を通じて多くのMSA患者さんやご家族のみなさんのご協力をいただいております。改めて感謝申し上げます。これまでに累計約250名のMSA患者さんから同意をいただいております。臨床症状などについてのデータの蓄積が進み、昨年にはその解析結果の一部を英文医学雑誌に掲載(Matsushima, et al. BMJ Open. 2021;11:e045100.)するなど活動を続けています。

今回も新たなMSA患者さんの本プロジェクトへの登録を進め、MSAに関わる様々な情報をお知らせできるように、各医療施設へ資料を配布しています。

定期的な評価のための調査票等は個別にお送りしますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

多系統萎縮症の新しい症状の評価方法に関する話題

最近も多系統萎縮症(MSA)に関する研究で新たな報告が続いています。前号でも紹介しましたが、MSAの診断や症状を正しく評価することは、診断や治療効果をみるために大切なことです。正しく評価するために様々な試みがなされています。このような正確に評価する方法を開発することを、バイオマーカー開発といいます。

最近、日本の研究機関から新しい放射線薬剤(18F-SPAL-T-06)を用いて、MSA患者の脳で蓄積しているアルファシヌクレイン蛋白を見えるようにする技術が開発されたとの報告がありました。また、前号で新しいMSAの診断基準において、髄液中のニューロフィラメントライトチェーン(NfL)という物質が、診断する一助になることが発表されたと紹介しましたが、このNfLだけでなく、髄液中のニューロングリア2(NG2)もMSA患者で上昇することが報告されました。

18F-SPAL-T-06やNG2が本当に重要な物質であるかについては、まだまだ研究が必要ですが、このような研究が進むと、新しい薬の試験(治験)がスムーズに進むこととなります。さらには将来的に、より早い段階での診断や治療開始にもつながることが期待されます。

参考文献・資料

Matsuoka K, et al. High-Contrast Imaging of α -Synuclein Pathologies in Living Patients with Multiple System Atrophy. *Mov Disord.* 2022;37:2159-2161.

Tokutake T, et al. Clinical correlations of cerebrospinal fluid biomarkers including neuron-glia 2 and neurofilament light chain in patients with multiple system atrophy. *Parkinsonism Relat Disord.* 2022;102:30-35.

多系統萎縮症の臨床試験に関する話題

これまでもお知らせしましたように、MSAを対象とした臨床研究・治験が複数行われています。間葉系幹細胞を髄液の中に注射する治療はアメリカとインドネシアで現在進行中ですし、コエンザイムQ10内服療法の結果も検討中で、今後の結果発表が待たれるところです。

MSAでは脳内にアルファシヌクレインが蓄積して悪さをしていますが、それを標的にした治療として、抗体という免疫に関わる蛋白質を点滴してアルファシヌクレインを増えないようにする薬剤も開発中です。アメリカや一部日本の施設も参加しているLu AF82422という抗体の治験はすでに終了しており、その結果発表が待たれます。

北海道大学を含めた複数施設ではTAK-341という抗体の治験が開始となる予定（開始日は未定）です。ただし、この臨床試験に参加するには、ひとりで安全に歩くことができる患者さんである必要があるなどの条件があるため、人数が限られてしまう他、試験の性質上、有効成分の入った「実薬」と入っていない「偽薬」のどちらのグループに割り当てられるかがわからないことに留意が必要です。また、薬剤点滴や症状評価のために入院や頻繁な通院が必要になる予定です。試験の詳細については今後、担当医を通じてご確認ください。



調査へのご回答のお願い

HoRC-MSAへの参加希望の「意向調査」の返信をいただいた方には、研究説明同意文書とスクリーニング調査票をお送りしています。「同意書」の提出のない場合は、参加する方の承諾が得られていないということになりますので、調査研究を進めていくことができません。HoRC-MSAに参加をご希望の方で、もし同意書が未提出でお手元にある方は、返信用封筒に入れて事務局へお送りください。

登録済みの方には、適宜所定の調査票をお送りする予定としています。こちらにもご協力をお願いします。

時々、転居などのためにこちらから発送した書類が届かずに返送されてくる場合があります。住所変更、通院先が変わったとき、病状に変化があった時など、何かありましたら、同封の「変更用紙」にてお知らせをよろしくをお願いします。



HoRC-MSA事務局

〒060-8638 札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野
神経内科学教室（北海道大学病院神経内科）

TEL 011-706-6028 FAX 011-700-5356

URL <http://neurology.med.hokudai.ac.jp/~neuro-w/horc-msa/>



質問・ご意見等募集

HoRC-MSAでは、みなさまのご意見やご質問を募集しています。お寄せいただいた内容は、個人情報に留意しつつ、HoRC-MSAの取り組み・運営の参考にさせていただきます。

〒060-8638

札幌市北区北15条西7丁目

北海道大学大学院医学研究院神経病態学講座
神経内科学教室 HoRC-MSA事務局

編集後記

本号では、道内の患者さんも参加可能な治験に関わる話題もお伝えすることができました。まだすべてのMSA患者さんに新しい治療をお届けできるものではありませんが、少しずつ前に進んでいる状況と考えられます。

今年はさらにMSAに対する医療の進歩を期待する1年となります。引き続き新型コロナウイルス感染症に気をつけながらではありますが、2023年もどうぞよろしくお願いいたします。